



広報 矢島

3月

平成 17 年第 5 8 7 号

編成・発行／矢島町企画商工観光課 毎月1日発行
秋田県由利郡矢島町矢島町 20 TEL 0184-55-4952
印刷／高瀬館印刷所 FAX 0184-55-2157
Eメール yashima@town.yashima.akita.jp
ホームページ <http://www.town.yashima.akita.jp>



100歳の良太郎さんの笑顔。
毎朝のお水と自家製ジャージー牛乳は欠かさないとのこと。身の回りのことも全て一人でこなし、お風呂も日に2、3回は入るとか。表彰のため風邪を引いてはとお風呂も休んで表彰に臨んで頂きました。

元気一杯！福ある笑顔

今月の主な内容

P 2・3	スポーツ表彰	P 4・5	保健だより
P 6・7	年金だより	P 8・9	まちの話題
P 10	教育委員会だより	P 12・13	情報ひろば

平成16年度 矢島町スポーツ賞表彰



受賞者代表・佐藤智弥さんの挨拶

はなくてはならない地元指導者にも光を当て、特別賞としてその功績をたたえました。平成19年にわか杉国体を控え、矢島町もソフトボールの会場となっています。日に日に高まる国体熱ですが、その後も踏まえた矢島のスポーツの指導、強化を図る必要があります。受賞者挨拶に立った佐藤智弥さんは、好成績をあげるこ

とが出来たのは自分だけではなく周りの方の協力があつてこそと語り、また2月22日の開幕を控えた、岩手りんどう国体で健闘を力強く誓いました。今回、受賞された皆様におかれましては矢島の今後のスポーツ振興のため、更に飛躍し後進の指導にもご尽力くださるようご期待申し上げます。

今年は優れた指導者にも特別賞を授与！

栄光賞6名、奨励賞6名、特別賞（指導者）4名が表彰
2月16日午後6時から日新館で矢島町最後となる「平成16年度矢島町スポーツ賞表彰式」が行われました。16年度各スポーツ分野において優れた功績を上げた12選手と4指導者が表彰されました。今年度は活躍した選手だけではなく、限られた時間の中で活動するアマチュア競技に



受賞された16名

君のハートよ位置につけ

秋田わか杉国体

2007 第62回国民体育大会

矢島町はソフトボール成年女子競技の開催地です。

豊島 拓	全県高校総体スキー 回転競技準優勝 大回転競技第4位 全国高校総体スキー競技出場
茂木 卓也	全県高校新人体育大会 男子シングルス第9位 全国高校選抜卓球大会出場
小番 嘉文	全県高校総体卓球競技 男子ダブルス第2位 全国高校総体卓球競技 男子ダブルス出場
特別賞（個人）	
佐藤 一夫	平成8年スポ少の発足により夫人と一緒に指導者。11年から監督・又代表指導者として野球を指導。 この間、AKT杯で優勝2回・全県大会出場。郡市大会で準優勝2回の成績を納める。
佐藤 俊一	昭和51年高校卒業後、小・中学校剣道部を指導、現在スポ少剣道代表指導者。平成5年県スポ少創立30周年記念大会で功労者表彰を受賞。特に昨年度は全日本少年武道練成大会に矢島町として初出場させる。
佐藤 勉	昭和52年高校卒業後、中学校卓球部の外部コーチとして指導平成4年から現在までスポ少と中学校卓球部を指導。 この間、県、東北、全国大会に選手を出場させる。
小番 竜太郎	昭和63年大学卒業後、柔道会の一員として中学校柔道部の外部コーチとして指導。又一昨年柔道スポ少の発足に併せて両方を指導。 この間、中学校柔道部では県大会に選手を出場させる。

氏名	成績又は表彰理由
栄光賞（個人）	
佐藤 智弥	県民体育大会スキー競技会 成年B大回転競技優勝 国民体育大会スキー競技出場
佐々木 望	東北総体ソフトボール競技 成年女子第3位
佐藤 真理子	全県高校新人体育大会ソフトボール競技優勝 全国高校選抜大会ソフトボール競技出場
金子 ゆき	東北高校ヨット選手権大会女子デュエット競技第2位 全国高校ヨット選手権大会女子デュエット競技第9位
佐藤 誠之	県民体育大会セーリング競技少年男子FJ級優勝 国民体育大会セーリング競技少年男子FJ級出場
佐藤 夏実	秋田県空手道選手権大会小学6年女子 形の部優勝・東北地区空手道選手権大会小学6年女子形の部第4位・全国空手道選手権大会小学6年女子 形の部第4位・松濤杯少年世界空手道選手権大会女子12歳 形の部第4位
奨励賞（個人）	
三浦 敏弘	全日本6人制バレーボールクラブカップ男子選手権大会秋田県大会優勝 東北クラブバレーボール大会第3位
小番 保	全日本6人制バレーボールクラブカップ男子選手権大会秋田県大会優勝 全国大会出場 東北クラブバレーボール大会第3位
土田 順	県民体育大会スキー競技 成年B大回転競技準優勝 国民体育大会スキー競技出場

《相談・健診》

◎乳児健診

日時 3月7日(月)
午後1時
場所 保健センター
対象 平成16年3・5・8・11月生
持参するもの
母子手帳、記入したアンケート用紙、
バスタオル
※11月生の方は、健康相談票をお持ち
ください。

《予防接種》

◎ツベルクリン反応検査・BCG

①ツベルクリン反応検査

日時 3月8日(火)
午後1時
場所 保健センター
対象 平成16年11月生まれまで
未接種者
※母子手帳を持参してください。
ツベルクリン反応検査の予診票は
ありません。

②判定・BCG

日時 3月10日(木)
午後1時
場所 保健センター
持参するもの
母子手帳、記入した予診票

◎健診・予防接種の日程は矢島町のホーム
ページ・

iモードでも御覧いただけます。

《ホームページアドレス》

<http://www.town.yashima.akita.jp/>

《iモードアドレス》

<http://www.town.yashima.akita.jp/fukusi/fukusi/fukusi/imodo.html>

【秋田県特定不妊治療費助成のご案内】

現在、10組に1組のご夫婦が不妊と言われて
います。こうしたご夫婦の中には、治療の費用
や精神的な面で悩んでいる方々がたくさんい
らっしゃいます。

そこで秋田県では、不妊治療の経済的負担を
軽減するため、保険外診療である特定の不妊治
療(体外受精、顕微授精)を受けたご夫婦に対
し、治療費の一部を助成します。

相談や申請について、由利地域振興局福祉環
境部(電話22-4122)へお問い合わせくださ
い。

【スギ花粉症のお知らせ】

今春のスギ花粉飛散量は、全国的に観測市場
1、2位を争う量と予測されます。そのため、花
粉症の方は、症状の重症化が、花粉症でない方
も発症する可能性が指摘されています。花粉症

予防・重症化予防のために、次の点に注意して
ください。

- 1、室内に入る時は「服たたき」をして、花粉
を室内に持ち込まないようにし、「洗顔」「う
がい」をし、鼻をかみましょう。
- 2、外出する際には、「マスク」や「メガネ」を
着用しましょう。
- 3、鼻がムズムズしたり、目が痒くなったり、
花粉症の疑われる症状が出たら早めに医療機
関を受診しましょう。
- 4、スギ花粉との接触を避けるために、花粉情
報に注意しましょう。

花粉情報は、「秋田県花粉情報 (<http://www.pref.akita.jp/eisei/infection/pollen/index.html>)」に掲載しています。

●献血車来町(全血)

下記の日程で、献血車が来町しますので、皆

様のご協力をお願いします。

▼月日 平成17年3月8日(火)

▼場所・時間

矢島町役場 10時～12時

矢島小林工業矢島工場 13時～14時

TDK-ACC矢島工場 14時20分～
15時20分

矢島消防署 15時30分～16時30分

本荘由利広域市町圏組合立休日応急診療所
(旧本荘由利医師会病院脇) 当番医予定

診療時間

午前10時～
午後4時

問い合わせ

TEL 24-3917

月日	医師名
3月6日(日)	村田 誠
13日(日)	若松 秀樹
20日(日)	山田 暢夫
21日(月)	伊藤 政志
27日(日)	酒見 喜久雄

介護保険料についてのお知らせ

介護保険事業は、由利本荘市となっても、これまで同様、本荘由利広域市町村圏組合にて運営いたします。なお、平成17年3月22日以降は、本荘由利広域市町村圏組合にて、由利本荘市、仁賀保町、金浦町、象潟町の1市3町の介護保険事業を運営していきます。

平成17年度の介護保険料基準額は、これまでと変わりません。ただし、保険料は、毎年の世帯の住民税課税状況等によって変わりますので、平成16年度と比べ状況が変更となったときには、金額変更となる場合があります。7月に保険料額の決定通知がいきますので、ご確認ください。

要介護認定申請書等の受付や被保険者証等の交付、納付書等の再発行等は、すべての総合支所にて行えますので、お近くの総合支所にお申し出ください。

被保険者証は、これまで発行している被保険者証をお使いください。（一斉交付は行いません。紛失・汚れ等の場合には再発行いたしますので、総合支所に再発行を申請してください。）

あなたの老後を支える大切な「介護保険」にご協力よろしく願いいたします。

平成16年度 赤い羽根共同募金実績（単位：円）

種別	金額	備考
1. 毎戸募金 (個人大口含む)	1,087,411	毎戸募金1672世帯 個人大口11件
2. 街頭募金	22,319	矢島町婦人会
3. 法人募金	73,000	企業16社
4. 学校募金	45,252	高校、小・中学校
5. 職域募金	11,008	役場、社協、JA、TDK
6. その他	481	
	1,239,471	

「赤い羽根共同募金」
「ご協力ありがとうございました。」
赤い羽根共同募金運動は、行政協力員による毎戸募金、婦人会による街頭募金、小・中・高校による学校募金、町内法人、個人・団体による大口募金、職場における募金等多くの皆様のご支援により目標金額を達成することができました。本運動にご協力下さいました町民皆様に対し厚くお礼申し上げます。

矢島町共同募金会長 佐藤 清圓

平成16年度日本赤十字社社資増強運動！

日赤協賛委員の献身的な奉仕により、1,062,100円の実績となりました。ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。なお、平成13年から特別社員の社費額が2万円と改定になっております。

「人道」的な崇高な、しかも、国際的な奉仕や援助活動を続ける赤十字に一層のご支援をお願い致します。

日本赤十字社・矢島分区長 佐藤 清圓



年 金 コ ー ナ ー



「年金制度改正等」のお知らせ

1. 平成17年度の国民年金保険料は月額 13,580 円となります。

2. 国民年金保険料の口座振替割引制度が拡充されます。

1) 17年度分の保険料を一括して前納すると

①現金払いでは、2,890 円の割引

②口座振替では、3,420 円の割引となります。

現金払の前納は4月に郵送されてくる納付書で、5月2日までに金融機関に納付願います。

また、口座振替での前納は、3月31日までに社会保険事務所での登録が完了している必要があります。早めに手続き願います。

2) 月々の口座振替に早割（当月保険料の当月末引き落とし）制度ができました。

通常の口座振替は定額ですが、早割にすると40円が割引となります。早割制度を申し込みすると翌月末の初回の口座振替にて2ヶ月分の保険料（従前の保険料と40円割引された保険料）が引き落としとなり、その後毎月の保険料が割引となります。

3. 若年者納付猶予制度が導入されます。

これまで、所得が一定額以上の世帯主と同居している場合は保険料の免除対象となりませんでした。20歳代の方は本人（配偶者を含む）の所得が一定額以下の場合、申請により月々の保険料納付が猶予されます。障害や死亡といった不慮の事態が生じたときにその月の前々月以前の1年間に保険料の滞納があると、障害基礎年金や遺族基礎年金が受け取れない場合があります。この納付猶予制度の承認を受けている期間は滞納扱いとならないことから、万一の時も安心です。

なお、満額の老齢基礎年金を受け取るためには、その後10年以内に保険料を納付する必要があります。

※若年者猶予制度の対象となる年収の目安

平成17年度の基準

4人世帯（夫婦・子供2人） 258万円

2人世帯（夫婦のみ） 157万円

単身世帯 122万円

4. 保険料免除の所得基準額が一部緩和されます。

扶養控除がないために若者に多い単身世帯に厳しいものとなっていた保険料免除の所得基準が、単身世帯を中心に緩和されます。

※単身世帯の保険料免除の目安（年収ベース）

	全額免除	半額免除
平成16年度	100万円	150万円
	↓	↓
平成17年度	122万円	227万円

5. 第3号被保険者の「特例」が実施されます。

特例の届出をして頂くことによって、2年以上前の期間も第3号被保険者期間として取扱、将来その分の年金を受け取ることができるようになります。

なお、平成17年3月までに第3号の届出があり、社会保険庁から「第3号被保険者未納通知」を受け取っている方は届出の必要はありません。該当する方については4月下旬にお知らせが送付されます。

6. 特別障害給付金制度が始まります。

この制度は、障害基礎年金等を受給していない障害者に対して福祉的措置を講じる観点から給付金の支払いを行うものです。

①対象者

- ・平成3年3月以前の国民年金任意加入対象であった学生
- ・昭和61年3月以前の国民年金任意加入対象であった厚生年金保険等に加入していた方の配偶者

②対象者

- ・平成3年3月以前の国民年金任意加入対象であった学生
- ・昭和61年3月以前の国民年金任意加入対象であった厚生年金保険等に加入していた方の配偶者

上記の方で、任意加入していなかった期間中に生じた傷病が、現在、障害基礎年金の1、2級相当の障害の状態にある方です。

請求書の受付は4月1日から行いますが給付金の支給は請求書を受け付けた月の翌月からとなりますので、4月中に提出願います。

なお、収入や年金受給の状況によっては支給が制限されることがあります。

※その他詳しいことは社会保険庁ホームページ <http://www.sia.go.jp/>
又は本荘社会保険事務所(24-1114)まで

～国民年金保険料を納めましょう～

『日本赤十字社矢島分区からのお知らせ』

矢島分区では、日赤社員の方が亡くなられた際に弔辞を奉読して参りましたが、新市発足に伴い3月22日より、廃止になりますのでお知らせ致します。

また、日赤事業の事務局は今まで社会福祉協議会（福社会館内）で執り行っていましたが、合併後には矢島総合支所福祉保健課（現在の役場福祉保健課）で担当することになります。

今後とも災害救助、献血などの日赤事業の推進につきましてご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

2月10日 人権教室実施



矢島小学校において二・三校時を使って三・四年生が授業を行いました。指導者は、本荘協議会事務局長の打矢好子先生、四年生には矢島町人権擁護委員で本荘協議会副会長の伊東廣闡先生の二人で、ビデオの「プレゼント」と言う教材でした。内容は「いじめ」を扱ったもので、授業のねらいは、二つあり、「人権とは何か」「みんなの心に蒔こうとする種はなにか」ということでした。最初にビデオを観て、この2つの答えを見つけようと、子供達は真剣に考え意見を述べていました。「人権とは、人間が幸せに暮らせる権利」であり、「蒔かれた種は、思いやりの心だ」ということを見つけてくれたようです。人権という言葉は初めて聞いた子が多かったが、みんな一生懸命に人権について考えてもらい授業は大成功でした。

2005 トリプルクロス大会

TRIPLE CROSS in YASHIMA



参加者全員で記念撮影



迫力のゴール

2月21日、矢島スキー場においてトリプルクロス大会が行われました。約70名の選手が集まり、スキー、スキーボード、スノーボードに分かれ、1レース3～4名が同時スタート。ジャンプ台やコーナーの連続するクロスコースと呼ばれる専用コースを駆引きをしながらゴールへ向きます。上位2名が勝ち残り最終的な勝者を決める大会です。同時スタートによる行き詰まる接戦が繰り広げられ、ゴールでは僅差のレースもあり盛り上がりました。

第7回 秋田県スポーツ少年団

種目別スキー交流会 アルペンの部

日時 1月22日～23日(土・日曜日)
会場 鳥海高原矢島スキー場

秋田県内のスポーツ少年団が集い、団員同士の技術交流や各団活動の情報交換を行う中でお互いの親睦を深め、スポーツ少年団の健全な育成発展を図ることを目指して開催しました。昨年度は、小学生が139名・中学生が23名、合計162名の参加で行われましたが、今年度は56名多い、小学生が197名・中学生が21名、合計218名の参加で行われました。入賞した矢島町の皆さんです。

・小学校

1年生女子 熊谷 優里香さん 4位 4分18秒3
3年生男子 高橋 瑞樹さん 2位 1分38秒4

4年生女子 熊谷 大樹さん 4位 1分40秒4
4年生女子 小沼 佑妃さん 6位 2分34秒9

・中学校

1年生女子 佐藤 さゆりさん 2位 2分24秒1
2年生女子 大井 都さん 1位 3分04秒9
3年生男子 佐々木 伸さん 1位 2分42秒8





駅前を中心に矢島冬まつりが盛大に行われました。当日は吹雪になるなど安定しない天気でしたが多くのお客様が見られました。

町内2つの酒蔵開放や駅前広場に作られた巨大な雪の滑り台では親子づれがそりに乗ったり、雪だるまの重量当てコンテストなどが行われました。

駅の特設テントでは矢島の物産やたら汁、また四国香川県の丸亀市より3名を迎えての讃岐うどんの実演販売などが行われました。(丸亀のうどんについては右記記事)



(丸亀市役所の川村さんのお話)

色々なところでうどんを作りましたがこんなに雪が降る場所で作ったのは初めてです。ダシもきちんととっていますので、美味しく食べてもらえたのではないかと思います。

● 合併後の印鑑登録について

○印鑑登録をする際の注意事項

- ・本人が申請する場合は、本人確認ができるもの(運転免許証・パスポートなどの顔写真の付きの身分証明書)が必要です。
- ・顔写真付きの身分証明証がない場合は、家族等の印鑑登録している方が保証人となる必要があります。
(保証人が登録している印鑑を持ってきて下さい。)
- ・本人が入院等の事情により窓口に来ることができない場合は、代理人による申請を行いますが、本人の意思確認を郵送で照会するため数日間を要することになります。

<休日に死亡届を出される方にお願ひ>

届書に、亡くなられた方の生年月日や住所、本籍地などを記入するので、なるべく同居している親族の方が届出するようにお願いします。その際、火葬の日時、葬儀の日時・場所を決めてから来るようにしてください。

<合併後の住民票の発行、戸籍の届出について>

合併後の、住民票の請求や戸籍の届出等は、由利本荘市の中であればこの総合支所でもできるようになります。



●不明な点がございましたら、役場 生活・環境課 住民係 TEL 55 - 4959 まで問い合わせ下さい。

教育委員会 だより

矢島中学校建設委員会

委員長 佐藤 功

校舎の老朽化が進む中学校建設を検討され始めて6年目に入っている。

その間平成13年度に実施した老朽校舎改築事業に定める耐久度調査の結果からも一日も早い建設が待ち望まれてきた。一方、近年社会趨勢の急激な変化に伴い少子化が進む中で、本町では、今後児童生徒数の減少により学校規模が縮小され、中学校においては全教科について免許保有者の配置が出来ない等、学校の活力の維持や学習効果等の面で将来にわたり十分な教育環境を維持することが極めて困難となると思われる。そこで今、矢島中学校の建設の時期にあたり、町内に設置されている学校教育施設と生涯教育施設

を同一敷地内に隣接させ相互

の教育機能を保ちつつ、地域

連携型の複合的な教育施設を

建設し、子供たちが安心して

学べるゆとりある教育環境を

構想した。具体的には、町立

の矢島中学校と老朽化が著し

い県立の矢島高等学校を同一

敷地内に隣接させて教育施設

の拠点化を図ることにより、

施設設備の共用・教職員の相

互交流・学校と地域の連携強

化による生涯学習の充実等の

メリットが期待できる。また

一方で登下校時や放課後の部

活動時の交流などが予測され

るにつき、生徒指導面での心

配も懸念されるが、お互い校

訓や目指す生徒像に基づいた

指導により各々の学校として

の責任は果たさなければなら

ない。同時に中高一貫校の連

携と異なり、複合的教育ゾー

ン構想では、中学生一人一人

の進路希望を尊重し自分が選

んだ道に進むことを前提にし

ている。県教委の県立高等学

校の統合整備計画案において

小中高の新しい形の連携型の

学校として存続される矢島高

校においては、より多くの中

学生が入学したくなるよう

な、さらに魅力ある学校づく

いただきたい。

何れにしても複合的教育

ゾーン構想の具現化は、矢島

町独自のスタイルであり、あ

る意味少子化、過疎化に悩む

地域における学校のあり方に

ついて提言した先駆的な例に

もなり得ると考える。この構

想に基づいた矢島中学校を建

設するにあたり、地域住民の

思いと夢を形にするのが当委

員会の役割である。建設予定

地については、現在地から、複

合的教育ゾーン構想に基づき

10年後の小学校建設まで視野

に入れ、教育委員会を選定し

た助ノ瀨地区が適地となる

が、建設にあたっての基本的

な考え方は、平成15年3月に

矢島中学校建設検討委員会よ

り答申された「矢島中学校改

築の基本的な考え方につい

て」を最大限に尊重すること

とし、それに加えて各委員が

それぞれ親として、教師とし

て、地域住民の代表としての

立場から積極的に提言し、ま

た活発な議論を展開し、その

思いを専門家である安原教授

に形にしていただき、マス

タープラン（基本計画）を作

成したものである。今後矢島

中学校建設のそれぞれの工程

ンが充分活かされることを期待すると共に、旧藩時代から国内外で活躍された多くの先人、先達を輩出してきたことから「教育の町」を標榜してきた我が町であるが、今回の矢島中学校の建設計画を「新時代の教育の地域（まち）」づくりのスタートと位置付けたと考える。

※委員は次の方々です。
◎委員長 ○副委員長
◎佐藤 功（七日町） ○佐藤 久美（城新） 安原盛彦（県立大学） 佐藤 公（田中町） 三浦祐子（木在） 那須正美（矢島高校） 須田晃司（矢島中） 滝野祐美子（矢島小）



「仮称矢島中学校基本計画（マスタープラン）」設計にあたって

矢島中学校は子吉川に沿った見渡しのきく、広い敷地の中に将来、小学校、高等学校と隣接し連携しながら矢島の教育を担っていくことを目指して計画されている。

近年、学校を計画するとき気になるのがセーフティゾーンである。生徒にとつて安全な場所を確保しなければならぬ。そのゾーンニングをどうするかが重要と考える。しかしこの広い敷地を学校という開放性を持った施設でありながら全面的、完全にセーフティゾーンにすることは難しい。いくつかのグレードを設けて計画することになる。

校舎内においては地域開放する部分とその他の部分を区画する。そしてこの基本計画では校舎外にもセーフティゾーンを設けた。安全に遊び、行動できる広い中庭全体をセーフティゾーンとし、その最も見渡しの良いところに職員室を配置した。そこからはセーフティゾーンは勿論、教室群、生徒の登下校口をも出来るだけ見渡せるようにして

いる。

教室には隣にオープンスペース（ワークスペース）を設けて多様な学習形態、生徒の活動、休憩に適応できるようにしている。またどの教室からも鳥海山が見えるように配置し、鳥海山、子吉川、田圃の連なりがいつまでも生徒の記憶に残って欲しいと願っている。

地域開放する部分は校舎内では体育館、柔道・剣道場、和室、メディアセンター（図書室、コンピュータ室）、プールとし専用の出入口を設けている。

秋田県立大学・建築環境システム学科教授 安原盛彦

学校敷地内禁煙にご協力を

現在、小学校及び中学校では、校舎内禁煙としておりますが、四月より学校敷地内を禁煙といたします。タバコの受動喫煙防止、防煙教育のため、禁煙にご協力ください。

欧州文化に感激

中学生海外研修報告会



2月15日、日新館において先月紹介しました矢島中学生海外派遣研修報告会開催されました。

保護者や先生など30名の参席者を前に、中学生一人一人が登壇。ロンドンでのホームステイ先でコミュニケーションに苦労したことや、パリのルーブル美術館では教科書で見る美術品を目の当たりにした感激を発表していただきました。後半スライドを使った発表や意見交換ではホテルや見学先でのエピソードも披露。今回の研修を通して学んだことや体験を今後に役立てたいと感慨深げに発表していただきました。

やまめ新春大会

野兎の跡雪野に遊ぶ三日かな
小松 笛秋
老いてなお一願のあり初詣で
正木 禮子
雲の陰弱き光の初日の出
金子 四郎
七転び八起きに立ちて年始め
佐藤トキ女
齒の痛み去年今年へと突きとおる
佐藤真都子
初鏡髪をきりりと傘寿かな
佐藤 幸子
初春や茶を点つ孫の大人びて
佐藤 和子

第三五八回

矢島短歌会一月例会秀歌

常任講師 藤田 嘉樹

孫に明け孫に暮れたる一年ぞズツシと
重き孫抱き上ぐ 佐藤 洋子
この年の南瓜うましと思いつつ今日の
冬至の短日昏るる 伊東 房代
声も無く木々等懸命花咲かせ慰め呉る
いとおしきかも 富田 かよ
在りし日の息と登りたる鳥海山チエイ
ンにすがれば危ないと呼ぶ
佐藤 トキ
ヴィオロンの「春」と言う曲美しくメ
ロディーに乗り七草きざむ
年の瀬に七十六歳顧る短かりしと長か
りしとも 金子 京子
白妙の真綿ほかして覆いけり亡母の仕
草のままに伸ばし 佐藤 和子
降りしける雪にその精宿るがにすがす
がしもよそを除せにつつ 加賀谷 栄
賜いたる和紙の根付のあいらしも幼日
履きし藁靴に似て 茂木 富子
元日は心しづかに過ぎたくもベン置き
忘れ夢中に探す 佐藤 幸子
パソコンを持ちて帰省の孫の夜われの

雪原に足跡あまた獣道

加賀谷 栄
誰が訪うと線戸に狐月軒雪崩
小田 敏
初刷の新聞重しインクの香
佐藤木の実
薯蕷飯三杯も食み姑元氣
佐藤 洋子
止まず降る除雪の吾も無心なり
佐藤 栄子
元日によけては又よる柚子の風呂
伊東 房代
「ばあちゃんか」元氣な孫の初電話
金子 京子
冬將軍風が笛吹き戸を鳴らす
佐藤 勝男
幸いの降つてきそうな初日影
佐藤千賀子

孫にやり息子からいただくお年玉

佐々木リヨ
明日あるを頼みて仰ぐ冬落暉
藤田 嘉樹
正月の孫の顔見て福の神
桜庭 恭子
新春や生れ在所に棲みて老ゆ
佐藤柳四郎
田遊びもはるかなりけり老二人
茂木 富子
初夢や寝返りうって直ぐ忘れ
齋藤 瑞
父憶ふ彼方や遠し冬銀河
鞍馬 賢治
寒鰯を捌いて男まさりなる
北島やす雄

みんなの善意

◎社会福祉法人矢島町

社会福祉協議会

次の皆様から社会福祉事業のため役立ててくださいとして寄付金を寄託されました。
厚くお礼申し上げます。

- ◎城新、真坂良一様(御尊父 與一氏香典返し)
- ◎栄町、小野 久様(御主人 與四郎氏香典返し)
- ◎八ツ杉、小番 功様(御尊父 新一郎氏香典返し)
- ◎砂子沢、佐々木サダ様(御主人 次雄氏香典返し)
- ◎館町、畑沢和男様(御母堂 イサコ氏香典返し)
- ◎坂之下、山口滉様(御母堂 ヒデ氏香典返し)

アグリファーム

「ふれあい農園」

耕作希望者募集

町では、県立矢島高等学校の針ヶ岡農場跡地に非農家の方を対象とした家庭菜園「ふれあい農園」を整備し、利用をいただいております。

今回、耕作希望者の募集いたしますので、非農家の方は、是非耕作してみませんか。

▼募集人数 40名

▼募集区画の大きさ 一区画50㎡(約15坪)

▼貸出料金 1㎡当たり 年間60円

標準区画で年間3000円

▼貸出期間 平成17年5月1日より

11月30日まで
(更新は妨げません)

▼申込資格

◎非農家の方

◎農地面積10a未満の方

◎矢島町に住居登録している方

▼募集期間 3月15日まで

▼申込先 農林課整備係まで

TEL 55・4956

学童保育の申込受付

平成17年4月から学童保育を希望する児童の申込みを次により受付します。

申込用紙は、役場福祉保健課・子ども館・矢島保育園にあります。

▼対象児童

放課後、家に帰っても家族等世話が出来る人がいない児童

▼保育時間

平日 放課後～午後7時
土曜日 午前7時～午後7時

※帰宅時は、保護者の迎えが必要です。

▼保育場所 子ども館(新町)

▼利用料 無料(ただし、おやつ代等の経費は実費徴収)

▼定員 30名

▼受付期間

3月1日～3月15日

▼申込先・お問合せ先 役場福祉保健課

TEL 55・4960

寿康苑からのお知らせ

◎第十回春の民謡唄い初め本荘久謡会の皆様によります春の民謡唄い初めがあります。

皆様お誘い合わせの上、おいで下さい。

▼日時 3月12日(土)

午後12時30分開演

▼場所 寿康苑大広間

▼特別出演 千葉美子

危険物取扱者試験

準備講習会の案

平成17年5月15日(日)に危険物取扱者試験(乙種第4類・丙種)があります。

この試験に対して準備講習会を開催します。

乙種4類

平成17年3月12日(土)

～13日(日)

秋田県社会福祉会館

平成17年3月24日(木)

～25日(金)

秋田テルサ

平成17年4月9日(土)

～10日(日)

秋田市文化会館

受講料

個人14,700円

会員9,450円

学生は会員割引料金で受講できます。

補習講習

平成17年5月8日(日) 受講料 8,400円

丙種

平成17年3月27日(日)

秋田県生涯学習センター

▼受講料 9,450円

▼講習会受付(各講習共通)

平成17年2月22日(火)

～3月8日(火)まで

▼準備講習会についての受付・問合せ

社団法人 秋田県危険物安全協会連合会

〒010-0001

秋田市中通4丁目3-23

秋田県消防会館内

TEL 018-836-3236

FAX 018-836-3235

http://www.cna.ne.jp/~kankyo/

Email:kankyo@cna.ne.jp

申し込み用紙等は近くの消防署にもあります。

教職員送別会の案内

小学校、中学校の教職員送別会を次により開催します。多数参加下さいますようご案内申し上げます。なお、今回の送別会は市町合併に伴い町教育委員会がなくなることから小中P連絡協議会が主催します。

▼日時 3月29日(火)

午後5時より

▼会場 日新館ホール

▼会費 3000円

▼参加申込 3月25日まで矢島小学校(事務局)へ

TEL 56・2204

東北電力からのお知らせ

屋根の雪下ろしの時は、電線に注意して下さい。又切れた電線には触らないで東北電力にご連絡をお願いします。

雪の重みで電線に近づいている樹木を見かけた場合も、東北電力へご連絡をお願いします。

▼連絡先

東北電力株式会社
本荘営業所

TEL (フリーダイヤル)

0120-175-466



矢島町臨時職員募集

- ▼勤務内容
水道施設の維持管理等業務
- ▼募集人員
1名
- ▼募集資格
矢島町在住者で概ね40歳までの者
- ▼自動車普通免許取得者
- ▼勤務時間・賃金
矢島町臨時的任用職員任用管理規定による
- ▼雇用期間
平成17年4月1日～平成18年3月31日
- ▼加入保険
社会保険、厚生年金、雇用保険
- ▼申込方法
履歴書に自筆記入
- ▼申込期間
平成17年3月10日(木)まで
- ▼提出先
矢島町役場水道課
- ▼採用方法
書類審査選考及び面接試験
- ▼問合せ先
矢島町役場水道課
電話 55・4954

由利本荘市奨学生募集

平成17年度由利本荘市奨学資金の申込受付を次により行

います。

- ▼対象者
由利本荘市住民の子弟で、学業成績が優良・品行方正、学資の支弁が困難な状態にある者。
- ▼募集人員
5名以内。
- ▼貸与月額
・大学、短大、専修学校、国立高专 5万円以内
・高校 2万円以内
- ▼貸与期間
在学する学校の正規の就学期間
- ▼返還期間
据置期間に貸与期間の2倍を加えた期間(無利息)
- ▼申請期間
3月22日(月)～4月8日(金)
- ▼提出先
学校教育課
(日新館内 3月22日より
矢島教育事務所教育課)
- ▼貸与決定方法
選考委員会で審議、決定後通知します。
- ▼問合せ
申込書類は学校教育課
(TEL 56・2204)

フォーラム

「いいね、秋田スギの家！」

秋田県では、秋田スギの魅力や活用の必要性、そして秋田スギを使った家づくりをもっと知っていただくために、「フォーラム「いいね、秋田スギの家！」」を次のとおり開催します。

- ▼日時 3月12日(土)
- ▼会場

秋田県中央シルバエリア多目的ホール(秋田市御所野下堤5丁目1-1)

- ▼参加料 無料

※参加希望者は事前に県秋田スギ活用推進チームまでお申込下さい。

▼問合せ
県秋田スギ活用促進チーム
TEL 018・860・2238
FAX 018・860・2239

平成17年3月1日から3月7日まで建築物防災週間です。

期間中秋田県では、建築物の防災について県民の皆様にもっと知っていただくために、次の取り組みを行います。

- 1、県内各地域振興局建設部建築課内及び(財)秋田県建築住宅センター内に木造家屋の耐震診断・改修に関する無料相談窓口を設置し、県民の

皆様の相談をお受けします
2、不特定多数の方が利用する建築物を中心に、防災査察を実施し、維持管理の不備な建築物や防災対策の不備な建築物に対し防災指導を実施します。

皆様が安心できる建築環境をつくるためには、住宅などの安全性・防災対策に対する皆様一人ひとりの理解が欠かせません。

この週間をきっかけに、皆様の住宅や身近な建築物の防災に関心をよせてみてください。

矢島町囲碁大会成績

優勝 伊東 廣 八段
二位 須貝 忠平 七段
三位 金子 光悦 五段
四位 小番 幸一 四段
矢島囲碁同好会

交通事故の発生状況

(平成17年2月21日現在)

人身交通事故 3件

(平成17年2月)

交通死亡事故ゼロ日数
420日

1月救急月報 (矢島地区消防組合)

	出動件数	搬送人員
交通事故	0 件	0 人
一般負傷	6 件	6 人
急病	13 件	12 人
その他	3 件	3 人

「由利本荘市」の市長選挙立候補届出説明会

3月22日、一市七町合併に伴う由利本荘市長選挙の立候補届け出手続き等について、次により説明会を開きますので、立候補予定者またはその代理人はご出席ください。

- ▼日時 3月15日(火) 午後1時30分～
- ▼場所 本荘市役所4階「正庁」
- ▼問合せ 本荘市選挙管理委員会および各町選挙管理委員会